

津田梅子の声 CDに再収録

レコード音声を修復

今年で創立百周年を迎える津田塾大(東京・小平市)の創設者、津田梅子(一八六四―一九二九)が、塾長として卒業生を送り出した際の英語スピーチを収録したCDが完成した。梅子の音声記録として唯一現存するレコードから最新の音声修復技術を駆使して再収録。卒業を航海への船出に例え、学生たちに「真理と

協和発酵の医薬



愛と献身」の大切さを説く「女子高等教育のパイオニア」の声が、生き生きとした口調でよみがえった。

このスピーチは、一九一三年(大正二)、同大の前身の女子英学塾で行われた卒業式での式辞。塾長の梅子は、七歳から十八歳まで

米国に留学した英語力を生かし、「人生という困難な航海を乗り感えるには、真理と愛と献身が必要」などと約四分間にわたって熱弁をふるった。

音声の修復は、早稲田大

音響研究室の山崎芳男教授(57)が担当。山崎教授は、超音波で音溝をクリーニングした後、十数種類の針とレーザー光を使って音声信号を抽出、合成させるなどし、半年がかりで雑音を減らした。

CDには、レコードの裏面に録音されていた梅子の詩の朗読なども収録して五千枚製作。一枚五百円で一般にも販売する。

問い合わせは津田塾大広報課(☎042・342・5113)へ。

日本料理店で発砲